

# 北條民雄文学賞作品募集

## 募集要項

**応募資格** 年齢、性別、職業、国籍は問いません。

- 応募規定**
- ・ジャンルは自由。ただし、応募にあたっては小説・エッセー・評論等の別をお書きください。
  - ・日本語で書かれた未発表作品で筆者自身のオリジナル作品に限ります。
  - ・文献や資料などを引用した場合は、その出典を明記してください。
  - ・原稿は横長A4サイズに限ります。
  - ・枚数は縦書き400字詰原稿用紙20～50枚
    - 1) 手書き原稿の場合はA4サイズ縦書きの400字詰原稿用紙を使用。
    - 2) ワープロ原稿の場合は原稿用紙を用いず、横長A4サイズの白紙に縦書きで1ページ40字×30行で印字してください。両面印刷は不可とします。
  - ・本文には通し番号（ページ数）を入れてください。
  - ・作品には表紙をつけ①題名②氏名③住所④電話番号⑤Eメールアドレス⑥年齢⑦性別⑧略歴を記入してください。（題名、氏名にはふりがなを、ペンネーム使用の場合は本名を書き添えてください）
  - ・手書き原稿、ワープロ原稿ともオリジナル原稿とし、コピー原稿は不可とします。
  - ・原稿はとじないでください。
  - ・募集要項および表紙の様子は、阿南市のホームページからダウンロードできます。

**賞** **大賞（1編）** 賞状・副賞（賞金50万円） **優秀賞（2編）** 賞状・副賞（賞金5万円）  
※賞金については平成28年度阿南市予算の議決によって確定します。  
※入賞作品集発刊予定。

### 選考委員



原田大二郎（俳優）

映画「裸の十九才」でエランドール新人賞。テレビドラマ「Gメン75」、映画「蒲田行進曲」「奇跡の海」、舞台「ジュリアス・シーザー」などに出演。元明治大学特別招聘教授。阿南市で「いのちの初夜」を朗読。



高山 文彦（作家）

「火花 北条民雄の生涯」著者、平成12年 第31回大宅壮一ノンフィクション賞受賞、平成12年 第22回講談社ノンフィクション賞受賞。平成26年 阿南市文化会館「北条民雄生誕100周年講演会」講演。



旺季志ずか（脚本家）

阿南市生まれ。代表作 テレビドラマ「カラマーゾフの兄弟」「女帝」「ストロベリーナイト」「黒服物語」「特命係長 只野仁」「トイレの神様」「佐賀のがばいばあちゃん」等。平成25年から阿南ふるさと大使に就任。

**受賞作発表** 「広報あなん」平成28年12月号で発表します。（応募者には文書等で通知します）  
※選考についての問い合わせには一切応じられませんのでご了承ください。

**授賞式** 平成29年1月に阿南市文化会館・夢ホールで行います。

- 注意事項**
- ・応募期間終了後の作品の訂正は受け付けません。
  - ・作品は返却しませんので、必要な方はコピーをとってください。
  - ・手書きの場合は、読みやすい字で、消えにくいものをお書きください。鉛筆書きの原稿は不可。
  - ・応募された方の個人情報、本文学賞以外の目的に利用することはありません。
  - ・過去に新聞・雑誌・同人誌などに掲載された作品、または他の文学賞で入賞、入選した作品は未発表の作品とはみなしません。未発表ではないことが判明した場合、受賞を取り消します。
  - ・大賞・優秀賞受賞作および応募作品の著作権は阿南市に属することとし、出版・二次利用等については阿南市が独自に行うものとします。

### 応募先・問い合わせは

〒774-0030 阿南市富岡町西池田135番地1 文化振興課「北条民雄文学賞」係 ☎(0884) 22-1798) へ



北条 民雄肖像画（日本近代文学館蔵）

### テーマ

「北条民雄」もしくは「ハンセン病」をキーワードとする。

### 応募期間

8月3日(月)～平成28年2月29日(月) (当日消印有効)

### 北条 民雄（ほうじょう・たみお）

朝鮮・京城（現・ソウル）で生まれ、阿南市育ちの作家・北条民雄は、19歳でハンセン病を発病し、療養施設全生病院に入院、隔離生活を余儀なくされた。入院中、文学にすがるように執筆活動をし、自身が体験した療養所の様子を明らかにした作品「いのちの初夜」は民雄の文学の師であった川端康成によって発表され、昭和11年第2回文学界賞を受賞。昭和12年12月5日、23歳の若さで全生病院において死亡し、昭和13年、川端康成の編集により「北条民雄全集」（上下二巻）が出版された。川端康成は日本人として最初にノーベル文学賞を受賞したが、その折、「北条民雄が生存しておれば、私より先にノーベル文学賞を受賞していたらろう」と述懐したと伝えられている。

阿南市出身の作家北条民雄（1914～1937年）の生誕百周年と阿南市合併10周年を記念して、「北条民雄文学賞」を創設しました。賞は今回限りですが、この文学賞により、ハンセン病や人権問題に対する理解が進むとともに、北条民雄の作品や業績を顧みるきっかけになることを願って作品を募集します。